

与野南中学校 コミュニティ・スクールだより

No.2

令和6年度の第2回学校運営協議会が、12月6日（金）13時30分から与野南中学校の第2視聴覚室で行われました。

＜参加者＞

＜学校運営協議会委員＞

- 会長 玉置 悌助（学校運営協議会会長）
- 副会長 町田 守正（学校運営協議会副会長、青少年育成与野南地区会会長、大戸北第2自治会会長）
- 山本 光雄（民生委員、中央区民生委員南地区協議会代表）
- 矢作 浩良（大戸公民館長）
- 萩原 朋子（さいたま市中央区区民生活部長）
- 阿部 達哉（さいたま市立与野南中学校 PTA会長）
- 牧 見和子（さいたま市立与野南中学校 PTA副会長）
- 佐和 聖子（さいたま市立与野南中学校 PTA副会長）
- 正田真由美（さいたま市立与野南中学校 校長）
- 池田 卓思（さいたま市立与野南中学校 教頭）
- 宮崎 祐介（さいたま市立与野南中学校 教務主任）
- 金子 要一（さいたま市立与野南中学校 学校地域連携コーディネーター）



＜与野南中＞

- 生徒会会長（1名）
- 生徒会副会長（2名）
- 生徒会本部役員（4名）

＜第2回学校運営協議会の様子＞

第2回学校運営協議会では、初めて生徒会本部役員と学校運営協議会委員との話し合いを行った。熟議の時間では、生徒会長からの提案で、「地域の方が参加可能なあいさつ運動」について5つのグループに分かれて意見交換を行った。各グループで学校、家庭、地域で取り組めることについて考え、話し合った。各グループから出た意見を発表しあった。その後、学校運営と取組実践について校長より報告をした。内容についての質疑応答を行ったが、特に意見はなかった。最後に、全体を通して意見の申出について聞いたが、特に意見はなかった。

<各グループの意見>

【Aグループ】

- ・校内でのあいさつを活発にし、朝礼等で生徒会が全校に向けてあいさつの活性化についてアナウンスするとよい。
- ・PTAでのあいさつ運動を継続していきたい。

【Bグループ】

- ・顔見知りだとあいさつしやすいので、学校と地域で連携する行事を増やして、顔見知りを増やしていくことが大切。
- ・習慣化していくように、何回も繰り返していくことが大切だと思う。

【Cグループ】

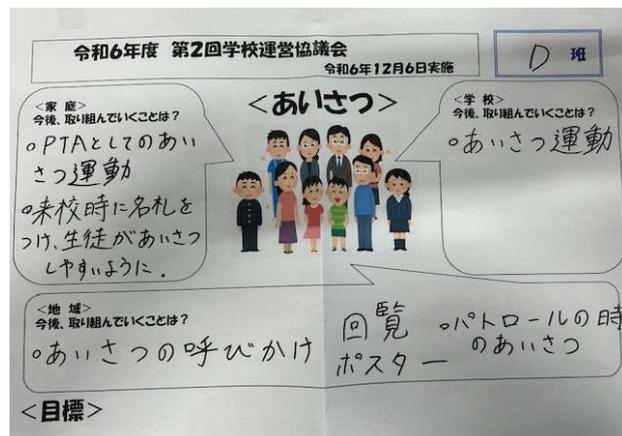
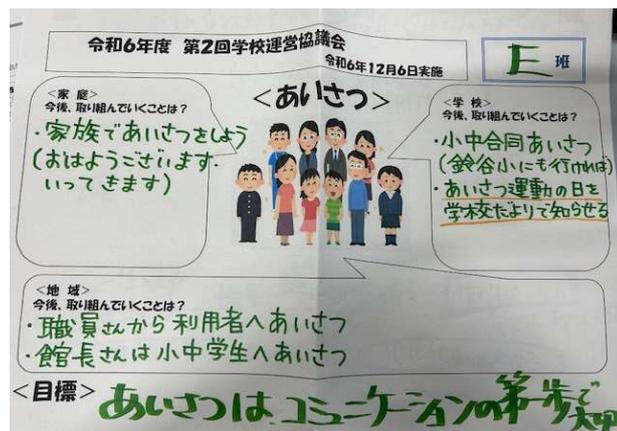
- ・「あいさつ大臣」「あいさつ推進生徒」を任命し、キーホルダーやバッジ等を作成し、登下校時に身に付けるようにする。
- ・雰囲気づくりを大切に。大人が躊躇せず、挨拶するように。

【Dグループ】

- ・手紙を配付して、地域の方にあいさつ運動に参加していただくよう呼びかける。
- ・生徒からあいさつをしてくれると、地域住民もあいさつを返しやすい。

【Eグループ】

- ・家族であいさつをすることが大切
- ・「あいさつ運動の日」を決めて、学校だより等に載せて地域の方が参加しやすいようにする。



<生徒会本部役員感想>

生徒会副会長より

「始めは何を話せばいいか心配だったが、とても話やすく、楽しく話し合うことができた。地域と連携することの大切さを改めて実感する機会となった。今回の話し合いをきっかけに、学校がさらに良くなっていけばいいと思う。生徒会だけでなく、全校生徒に発信していきたい。」

<本日のまとめ>

副会長より

挨拶だけでもたくさん話が出てきた。テーマを決めることで充実した話し合いになると思う。校長先生からの先ほどの報告で、後輩たちが頑張っていることがよく分かった。家庭環境の難しさを感じる。自治会としても、対応の難しさを感じている。

